

会 議 記 録

次の審議会（協議会）を下記のとおり開催したので報告します。

審議会等名称	令和7年度 第2回近江八幡市総合教育会議		
開催日時	令和7年7月29日（火）10時00分～10時45分		
開催場所	近江八幡市役所 3階 市長応接室（近江八幡市桜宮町236）		
出席者 ※会長等◎ 副会長等○	<p>出席者(敬称略)</p> <p>市長 小西 理 (◎)</p> <p>教育長 安田 全男</p> <p>教育長職務代理者 重森 恵津子</p> <p>教育委員会委員 西田 佳成、大更 秀尚</p> <p>欠席者</p> <p>教育委員会委員 圓山 淳子</p> <p>事務局</p> <p>総合政策部企画課</p> <p>教育委員会事務局教育総務課</p> <p>出席所属</p> <p>教育委員会事務局学校教育課、生涯学習課</p> <p>傍聴者 なし</p>		
次回開催予定日	令和7年10月中旬		
問い合わせ先	<p>所属名、担当者名 総合政策部企画課 東 有希、中川 郁、野田 卓治</p> <p>電話番号 0748-36-5527</p> <p>メールアドレス 010202@city.omihachiman.lg.jp</p>		
会議記録	発言記録・ 要約	要約した理由	内容を整理して、分かりやすく記録として残すため
内容	別紙のとおり		

担当課⇒総務課

事務局	1. 開 会 省 略
市長	2. 換 拶 省 略
事務局	3. 議 題 【議題①】第3期近江八幡市教育大綱の素案について
委員	▪ 配布資料1に基づき、現行の第2期教育大綱と改訂後の第3期教育大綱（素案）の変更・修正点等について説明を行った。
委員	▪ 資料1 4頁の目標③の説明文に「学びをつなぐ校種間のなめらかな接続」という文言を入れていただきたい。
委員	▪ 新たな教育大綱では、生涯にわたって学び続けること強調されており、学校を卒業後やリタイア後にも学び続け、社会を支えていく人材が重要である。
委員	▪ 基本理念のキャッチフレーズが分かりやすく、非常に良い。
委員	▪ 「生き抜く力」や「確かな学力」など教育大綱が強調したいキーワードを用語集として説明いただけると、さらに読み込みやすい。
教育長	▪ 資料1 4頁の目標①の説明文に「確かな学力」とあるが、近江八幡市独自の定義となっている。
教育長	▪ これまでは、基本的な知識や技能を伸ばすことが「学力」と考えられているが、新たな大綱では、「確かな学力」とは課題発見能力や主体的な課題解決能力であると読み取れる。
教育長	▪ これからの時代を生き抜くための「学力」として定義されており、非常に画期的であると感じる。
教育長	▪ また、資料1 5頁の目標⑤の説明文について、教育委員会において、生涯学習の範疇で何か施策を講じることができると考える。
教育長	▪ 現在、本市における生涯学習は、若干、その柱を失っている状況であることから、教育大綱に生涯学習の推進を位置づけていただくことは大変有難い。
事務局	▪ 「確かな学力」の定義は、事務局案のとおりで良いか。
委員	▪ 偏差値や点数に偏るのではなく、非認知能力、生きるために必要な能力であると捉えられており、事務局案は非常に良いと思う。
事務局	【議題②】こどもの意見聴取の手法等について
事務局	▪ 配布資料2に基づき、こどもの意見聴取の趣旨、対象、手法について説明を行った。
市長	▪ アンケート調査を行うとのことだが、アンケートが目的ではなく、どのようなアンケートを実施するのか検討することが重要。

- 委員
 - アンケート用紙は、知的財産に匹敵するものであるため、十分に配慮をいただきながら、アンケートを作成いただきたい。
 - また、アンケート調査は、必ずしも正確ではない。必ず、対面での調査を行うことが重要であり、アンケートを補う形で、一定数のインタビューを行うべきだと考える。
- 事務局
 - 生き抜く力礎アンケートは、どのように活用されているのか。
 - また、きちんとした形で取りまとめられ、今回の意見聴取に役立つ内容であるのか。
- 生涯学習課
 - こどもの意見聴取の質問について、事務局でも検討を行っていたが、生き抜く力礎アンケートの調査項目と似通った部分も多く、参考とさせていただけるものと考えている。
 - 生き抜く力礎アンケートは、滋賀県教育委員会事務局人権教育課の「生き抜く力の育み事業」を受けて実施するものである。
 - 困難な状況にある子どもや家庭を支援することがベースとなっており、子どもたちの自尊感情を育むことを目的に、どういった力を伸ばしていけば良いのか分析するためのアンケートである。

【その他意見について】

- 市長
 - アンケートは状況調査だけでなく、子どもや保護者から、我々が思ってもいないような視点が得られることを期待する。
- 教育長
 - 7月28日(月)に教育委員会の事業評価委員会を開催したところ、外部の委員より、まちづくりの観点をもった教育の推進が必要と意見をいただいた。
- 委員
 - 近江八幡市が教育・学び合うことについてどのように考えているのかを提示いただき、子どもたちの学び、教育に対して支援をしてもらえる、教育の方向を何かポジティブに議論できるディベートのような機会があると非常に良い。
- 委員
 - 要望だけを言うのではなく、自らが社会の担い手である意識を持ち、皆でより良い社会を形成していこうという機運が高まると良い。
- 委員
 - 教育大綱の施策は、相互に連携し、アメーバのようにつながっているもの。
 - 単体の施策を実施できれば良いものでなく、連携を取り合い、教育大綱を達成する想いが重要である。
- 市長
 - 若い世代を中心に、皆で取り組むといった意識は芽生えていると思う。時代は変わってきている。

4. 事務連絡

- 事務局
 - 第3回総合教育会議は、令和7年10月中旬ごろを予定する。
 - 第3回会議では、教育大綱のパブリックコメント案を提示する。
 - こどもの意見聴取の手法等についても、引き続き、検討を進め、実

施できたところから報告をさせていただく。

事務局

5. 閉 会

省 略

終了時刻：10時45分